

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

# 災害に強い浄化槽の整備により、公衆衛生と生活環境を保全する (福岡県大牟田市)

事業者：福岡県大牟田市

対策前



老朽化している単独処理浄化槽



風水害による破損のリスク

対策後



合併処理浄化槽設置

## 対策名：73 浄化槽に関する対策

主たる施策グループ：5-4) 上下水道施設の長期間にわたる機能停止

## 事業名：浄化槽整備事業



- ポイント**
- 災害に強く早期に復旧できる合併処理浄化槽の整備を促進
  - 災害時における汚水処理機能を確保し、防災対策と公衆衛生及び生活環境の保全を図る

### 地域の概要・課題

大牟田市においては、過去に、台風や集中豪雨による風水害あるいは土砂災害等が発生しています。

これらの災害時に浄化槽が被害を受けると、汚水処理機能が停止し、公衆衛生及び生活環境の保全が確保できなくなるおそれがありました。

### 事業の概要

合併処理浄化槽※1は、既設の単独処理浄化槽※2よりも災害に強く早急に復旧できることから、転換促進を図る必要があります。

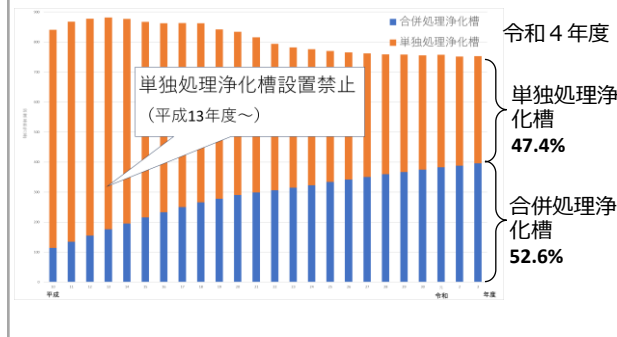
大牟田市の地域計画において、R2年からR6年までの5年間で整備計画人口2,676人、整備計画基数892基の合併処理浄化槽への移行計画が記載されており、下水道計画区域外の住宅に対する浄化槽設置費補助の交付により、合併処理浄化槽の設置促進を行っています。

- ※1 合併処理浄化槽は分散処理のため、長い管渠は不要であり、地震等の災害への対応力が高いです。過去の震災においても、合併処理浄化槽の破損率は低く、また、全損率が低いため、応急措置により個別に復旧しやすいという特徴があります。
- ※2 老朽化した単独処理浄化槽は変形や破損等が多く見られ、災害によって深刻化すると未処理の汚水が外部へ漏出し、地下水・井戸水等に悪影響を与えます。

### 見込まれる効果

合併処理浄化槽への更新により、災害時においても汚水処理機能が長期にわたり停止することを回避し、公衆衛生と生活環境の保全を図ります。

#### <合併処理浄化槽の転換状況>



2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化に関する施策の推進

(2) 伝達高度情報の予測、収集・集積